

## 米国 自動車の生産調整等が押し下げ要因に(2007年 1 月鉱工業生産)

発表日：2007年 2 月 15 日 (木)

～自動車、木材、家具、繊維、化学等で生産調整が継続～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : [seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp](mailto:seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp))

### 鉱工業生産 (Industrial Production and Capacity Utilization)

|       | 鉱工業生産 |        |      | 製造業生産（Industrial Production and Capacity Utilization） |      |      |            |             | 設備稼働率 |                | 生産能力 |
|-------|-------|--------|------|-------------------------------------------------------|------|------|------------|-------------|-------|----------------|------|
|       |       |        |      | 製造業<br>(NAICS)                                        | 鉱業   | 公益   | ハイテク<br>関連 | 除ハイテク<br>関連 | 自動車関連 | 製造業<br>(NAICS) |      |
| 06/01 | ▲0.0  | (+3.3) | +0.8 | +1.9                                                  | ▲8.4 | +0.5 | +0.6       | +2.0        | +81.1 | +80.0          | +0.2 |
| 06/02 | +0.3  | (+3.0) | ▲0.2 | ▲0.1                                                  | +5.1 | +0.8 | ▲0.3       | ▲1.3        | +81.1 | +79.7          | +0.2 |
| 06/03 | +0.5  | (+3.6) | +0.5 | +0.1                                                  | +1.7 | +2.7 | +0.4       | +1.4        | +81.4 | +79.8          | +0.2 |
| 06/04 | +0.9  | (+4.5) | +1.0 | +1.2                                                  | ▲0.1 | +3.6 | +1.0       | ▲0.0        | +81.9 | +80.4          | +0.2 |
| 06/05 | ▲0.1  | (+4.0) | ▲0.2 | +0.9                                                  | +0.3 | +1.8 | ▲0.5       | ▲1.7        | +81.7 | +80.1          | +0.2 |
| 06/06 | +0.9  | (+4.3) | +0.9 | +0.4                                                  | +1.6 | +1.6 | +0.6       | +2.1        | +82.3 | +80.6          | +0.2 |
| 06/07 | +0.4  | (+4.7) | +0.4 | ▲0.1                                                  | +1.2 | +1.7 | +0.3       | ▲4.1        | +82.4 | +80.8          | +0.2 |
| 06/08 | +0.2  | (+4.6) | +0.4 | ▲1.1                                                  | +0.0 | +2.5 | +0.1       | +1.9        | +82.4 | +80.9          | +0.2 |
| 06/09 | ▲0.3  | (+6.0) | ▲0.0 | +1.1                                                  | ▲3.9 | +3.1 | ▲0.4       | ▲1.3        | +82.0 | +80.7          | +0.2 |
| 06/10 | ▲0.2  | (+4.6) | ▲0.9 | ▲0.1                                                  | +5.0 | +1.7 | ▲0.7       | ▲3.6        | +81.7 | +79.8          | +0.2 |
| 06/11 | ▲0.1  | (+3.3) | ▲0.1 | ▲0.2                                                  | ▲0.5 | +0.9 | ▲0.1       | +3.5        | +81.5 | +79.6          | +0.2 |
| 06/12 | +0.5  | (+3.0) | +1.0 | +1.4                                                  | ▲2.7 | +1.4 | +0.8       | +1.8        | +81.8 | +80.2          | +0.2 |
| 07/01 | ▲0.5  | (+2.6) | ▲0.8 | ▲1.2                                                  | +2.3 | +1.7 | ▲1.1       | ▲6.0        | +81.2 | +79.4          | +0.2 |

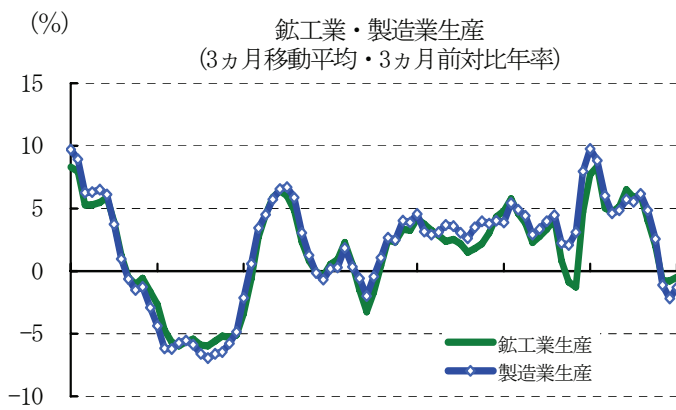
(出所) FRB

(注) 数字は前月比、但しカッコ内は前年同月比。

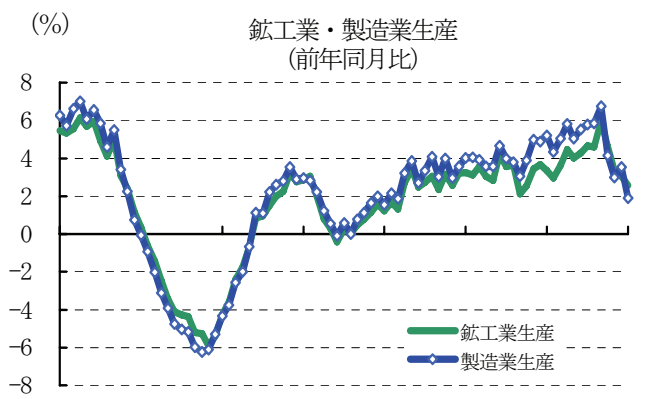
### 鉱工業生産は前月比 ▲0.5%と市場予想 を下回ったがモメン タムの低下に歯止め

2007年 1 月の鉱工業生産は前月比▲0.5%とマイナスに転じ市場予想の同+0.0%を下回った。気温の低下によって公益が増加に転じたものの、製造業、鉱業が減少した。ただし、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では▲0.5% (前月▲0.8%) とマイナス幅が縮小しておりモメンタムの低下に歯止めがかかっている。

製造業はハイテクが好調を維持する中、自動車生産が前月比▲6.0%と大幅な減少となったことで前月比▲0.8%とマイナスとなった (10、11、12月合計で同0.2%下方改定)。自動車以外でも、木材、家具、繊維、化学等で生産が減少した。しかし、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で▲1.3% (前月▲2.2%) とマイナス幅が縮小しており、製造業生産のモメンタム低下に歯止めがかかっている。



(出所) FRB



(出所) FRB

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

## 生産の減少も稼働率は依然として高い水準

稼働率は、生産能力が前月比+0.2%と拡大したものの、生産が同▲0.5%となったため81.2%と前月から低下した。製造業稼働率は79.4%（12月分は速報の80.4%から80.2%に下方改定）と低下した。

## 拡大した製造業生産は19業種中6業種に減少

業種別にみると、鉱業は前月の反動等によって前月比▲1.2%と減少に転じた。公益は、気温の低下によって天然ガスが同+10.8%と急増したうえ、電力が同+0.8%とプラスに転じたため、全体でも同+2.3%とプラスとなった。

製造業は、前月比▲0.8%とマイナスとなり、拡大した業種数も19業種中6業種（前月15業種）に減少した。セクター別にみると、自動車関連の生産は、自動車部品が前月比▲3.4%、完成車が同▲9.0%と減少したため、同▲6.0%と3ヵ月ぶりの減少となった。他方、ハイテク関連は、コンピューターが同+2.0%と鈍化したが、半導体が同+1.2%と前月と同率の伸びとなり、通信機器が同+2.4%と加速したことにより同+1.7%（前月同+1.4%）と拡大ペースが速まった。ただし、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+19.9%と前月の+25.3%から鈍化しておりモメンタムが鈍化している。

一方、航空機部門の生産は前月比+1.1%、前年同月比+12.3%と好調に推移している。受注残の大きさから当面この部門の生産は、好調を維持するとみられ生産を下支えしよう。

## 生産は2007年前半調整が続く公算

今後に関しては、2007年前半に在庫投資の抑制、住宅投資の減少によって景気は緩やかなペースでの拡大が予想される。自動車はビッグ3の販売不振によって生産調整が行われているが、2月にゼロ金利ローン対象車種を拡大するなど販促を強化しており2007年前半に在庫調整が終了すると見込まれる。また、住宅関連では、住宅投資の減少が2007年前半続くとみられ、関連の生産調整も年前半続くと予想される。このため、製造業生産は2007年前半緩やかなペースでの拡大にとどまると見込まれる。年後半には在庫調整の終了に伴い拡大ペースが加速しよう。

